

武蔵野日記

発行人 社会福祉法人武蔵野

武蔵野市吉祥寺北町 4-11-16

0422 (54) 7666

(12月23日~1月24日)

2月1日現在 職員総数 305名

『その人が暮らす地域』

ゆとりえ在宅介護・地域包括支援センター
センター長 都賀田 一馬

今年度、桜堤ケアハウスとゆとりえそれぞれの在宅介護・地域包括支援センターに生活支援コーディネーターが配属された。これによって「住民主体の支え合いの仕組みづくり」「誰もが役割を持って支え合う地域共生社会」への取り組みの一翼を担うことになった。

これまでの私たちの役割は、困りごとを様々な制度を利用して解決することだった。もちろんフォーマルサービスだけではなく、インフォーマルサービスも利用するという視点は持っていたが、あくまでも個人とサービスという点と点を結び付けることでしかなかったように思う。困りごとやニーズに対して解決に向けて導く方法だった。

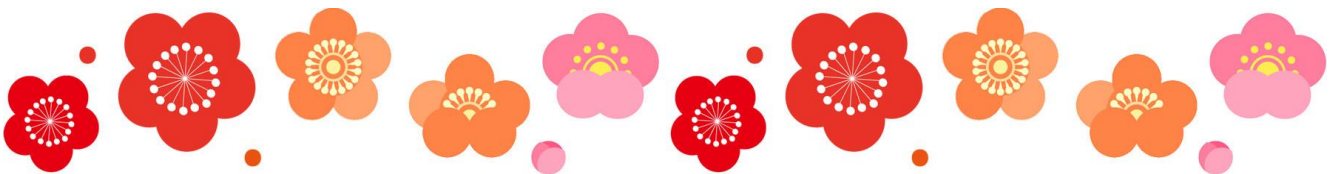
暮らしが便利になるとともに、煩わしい近所づきあいを避けたり、プライバシーを守りたいという意識から、生活を地域単位から個人単位へと変えてきた。それに合わせるように行政サービスも民間サービスも地域から個人へとシフトし、みんなが人との関わりの煩わしさから解放され、快適に暮らしてきたつもりになっていたのかもしれない。

それに慣れた私たち職員も、当然のように個人とサービスを結び付けた。より便利でより良いサービスを求めたし、それが喜ばれた。ただし、その場面、その時間しか見ていなかった。その人が暮らす地域を見ているつもりで見ていなかったのではないか。

便利なサービスを使うこと、それは人を地域から隠してしまうことがある。なんとか買い物に出かけていた人がヘルパーに買いものを頼んだり、宅配を利用すれば、買い物はできる。しかし、近所の人と出会うことはない。地域とのつながりは薄れてしまう。ゴミ出しが大変になった。ふれあいごみ収集を利用した。ゴミは出せるようになったが、近所の人と挨拶する機会が減った。体が弱ってきたので、デイサービスに通うようになった。専門職によるしっかりしたケアを受けられるようになったが、家と施設の行き帰りだけになった。

高齢になればなるほど人との付き合いは減ってしまう。だからこそ私たちは、サービスで困りごとを解決するだけでなく、地域とのつながりをどのように支えるのか、失われたつながりの代わりに新たなつながりをどのように作るのかが大切になっている。こう考えるようになったのは、生活支援コーディネーターという新たな役割を得られたことが大きく影響していることは間違いない。

便利なサービスはこれからももちろん活用する。でも、近所の人が声をかけてくれる。「腰の調子どう？買い物行くけど何かいるものない？」「今日はプラごみの日だよ」「今日は〇〇の会だよ、行くよ」と、当事者本人の地域社会関係の回復をめざす地域づくりや、地域への働きかけをしようと思う。



『未来へつなぐ福学協働の取り組み』

武蔵野福祉作業所
副施設長 本郷 倫子

武蔵野福祉作業所では、経営基本原則の経営ビジョンに示されている「さまざまな領域の団体・機関などと連携・協働をして福祉コミュニティの形成に寄与する」ことの実現のために地域の様々な団体・機関との連携に継続的に取り組んでいます。複数年に渡り取り組んでいる地域連携について、その意義や成果を法人全体で共有していくことが重要であると考えています。今回は、作業所の取り組みのひとつである成蹊大学との連携について情報発信します。

成蹊大学では、大学・行政（武蔵野市役所）・地域コミュニティが連携し、学生たちが吉祥寺の町の問題に取り組む理工学部の「吉祥寺プロジェクト」を展開しています。学生が吉祥寺の抱える問題の解決に対し、多角的な分析結果を基に解決策を立案していく取り組みです。プロジェクトの対象は、住宅地を抜け道として使う通過交通問題やヒートアイランド調査など多岐にわたります。その中のひとつ「武蔵野福祉作業所における作業改善プロジェクト」に武蔵野福祉作業所とワークステージりぷるが2013年より大学と連携して取り組んでいます。

内容としては、成蹊大学理工学部経営システムデザインコース（人間を中心に置いてものづくりを追求する学科と理解しています）の学生と連携し、作業現場における課題の抽出から改善の提案までを共同で取り組みます。求める成果としては、大学側は、工学の知識や技術を生かして福祉の生産現場の課題解決に取り組む実践的な研究と地域貢献ができること、作業所側は、より効率よく生産でき利用者が活躍できる仕組みをつくる提案を得ること、加えて未来を担う学生に障害者が働くことへの理解を深めてもらうことが挙げられます。

こちらから大学に出向き講義の中で問題の投げかけを行うことから始まり、見学を通じて改善点の抽出、データ分析、解決へのアプローチの検討を経て最後は改善案について共有します。ご利用者も含め作業現場が協力し学生とプロジェクトを進めていく中で、障害への理解が深まり障害者が働きやすい作業場づくりに自ずと学生たちの目が向けられていきます。それと同時に支援者側も福祉とは違った視点からの提案に様々な気づきを得ていきます。

就労支援事業所では地域との繋がりが仕事を通じての関係のみになりがちですが、そこに留まらず私たちに何ができるのか、何をすべきなのかを考え続ける必要があります。今回紹介した成蹊大学との連携では、お互いにwin-winの関係であることに意味があります。福祉側が一方的に恩恵を受けたり、逆に一方的に奉仕する関係だけではどこかに無理が生じます。地域を舞台に連携が継続し、文化となって定着していくことが理想です。あたりまえに障害者が地域で暮らし、働く。このことを認め合い支え合うために未来に向けて地域を耕し、人を育てることが必要です。作業所が取り組んでいる他団体との連携は、小さな取り組みではありますが継続・発展させていくことで新たな福学協働の文化を地域に根付かせていきたいと考えています。



12月25日(月)

平成29年の仕事納め

年賀状印刷が完了し、クリスマス伊ブの週末もあけた年内最終週の月曜、「年内に…」駆け込みのご注文が入っていました。ビルエントランスサインの文字や、新年に使う名刺、12月28日の御用納めまでにお客様に届ける必要があるものばかり。「今日中に完成」「明後日中に」完成期限を明確にし、指示書(伝票)が発行されます。原稿が利用者さんの現場へ速やかに渡ります。営業部員も利用者さんもいつもに増してこの日は手際がよい。サイン文字カッティング、名刺の作成・印刷が表裏の見当合わせも美しく仕上がっていきます。色落ちなど機材のトラブルも無く、検品終了、無事期日に納入して、平成29年の仕事納めをすることができました。(水田 潤子)

1月1日(月)

今年もよろしくお祈いします!

新年になり、入居者の方と歩いて10分程にある稲荷神社へ初詣に行ってきました。

稲荷神社へ向かう道中では、参拝客に笑顔で会釈される方や、『今年もよろしくお祈いします』ってお祈いするの』と何度も拝むポーズをみせてくれる方と皆さん楽しそうでした。

神社本殿では、「みんなが健康で暮らせませすように」と、『健康』を拝む方が多くいて、心温まる初詣となりました。

ゆとりえに戻ってからは、「寒かったです」「しっかりと手を合わせてきました」などと周りの皆さんに報告されていて、普段の生活とは違ふ表情をみる事ができました。(鳥津 奈恵)

1月5日(金)

お祝い行事の一日

午前は今年度成人を迎えた方お二人をお祝いしました。ネクタイ姿で凛々しく登場し、成人の抱負を発表。小平特別支援学校の先生方から、お祝いの言葉も寄せられました。次にお母様方からのひと言。20年間の思いは、とても感慨深いもので感動しました。(同じく子を持つ母として、重なる思いが熱く胸に響きました)先輩からの花束贈呈、記念撮影。市の成人式とはまた違ふ、ふれあいらしい温かな会になりました。

午後は新年を祝う会。ボランティアの方々による「大正琴の演奏会」が開かれ、みなさんも一緒に手拍子したり歌ったり。甘酒と抹茶もいただき盛り上がりました。(森分 エリカ)



ワークセンターけやき

印刷企画制作室



(写真)冊子印刷の開始時、大容量トレイに2000枚の用紙をセットしています。

特別養護老人ホームゆとりえ



デイセンターふれあい

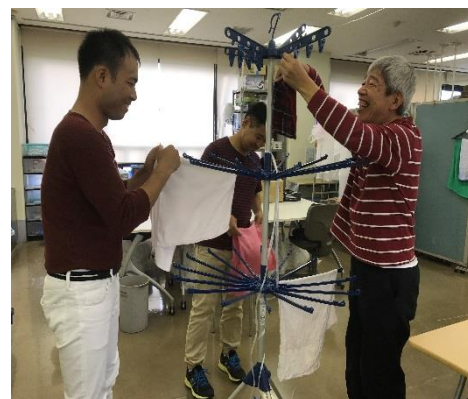


1月11日(木)

ワークセンター大地

どこからともなく…

「鳴ったよー！」どこからともなくそんな声が…。活動室では、洗濯機の完了の音が鳴ると誰かが必ず教えてくれます。するとすぐに物干しを持ってきて下さる方、その様子を見て「僕もやるよ！」とまた一人、自然と集まってきてくれます。そして「ありがとうー！」という言葉もあちらこちらから聞こえてきます。仲間への思いやりや感謝の気持ちが育まれ積み重ねていくことで、他者と協力する大切さを学んでいくのだなあと感じた日常の一コマでした。
(梅本 佳奈子)



1月12日(金)

おもちつき

おもちつきは親子で参加するウィズの行事のひとつです。紙芝居を見たり、手作りの杵と臼でおもちつきの練習をしたりして、みんなおもちつきを楽しみにしていました。

当日は、本物の臼と杵でのおもちつき。大人が杵を振り上げる迫力、“ドスン！”と大きな音に、子ども達は少しドキドキしながらも、興味津々です。子ども達も、小さな杵で順番におもちをつきました。ついたおもちは、丸めて鏡餅にして、おうちへのお土産になりました。
(木村 清香)

みどりのこども館 ウィズ



事務局より 2月の予定

2日(金) 施設長会議、中期基本計画合同検討会議

20日(火) 誰でも相談室

28日(水) 経営企画会議

<編集後記>

新年を迎えてから早くも一月が経ちました。寒波の影響で4年ぶりの大雪となり、寒さが続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年はインフルエンザもA型とB型が同時流行しています。外出時には防寒対策をしっかりとし、手洗いうがいをして体調を崩さないように気を付けたいと思います。

本年もよろしくお願いたします。

桜堤ケアハウス在宅介護・地域包括支援センター 榎戸 寿美子

